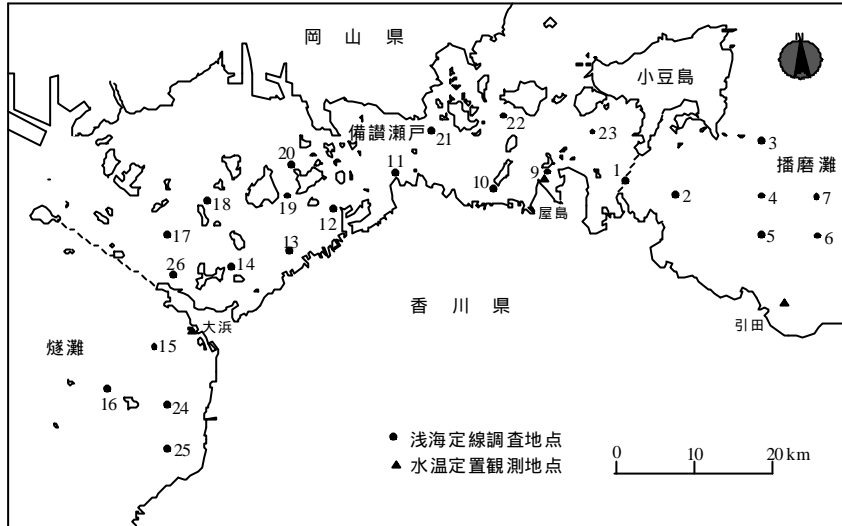


# 香川県漁海況速報 平成15年5月 (H15- 2号)

香川県水産試験場

## 1. 海況

### 1) 観測地点



### 2) 浅海定線調査

#### (1) 調査日

平成15年5月6日(播磨灘)、2日(備讃瀬戸、燧灘)

#### (2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「やや低めからやや高め」、塩分は「平年並みからかなり高め」、透明度は「平年並みからやや高め」、溶存酸素は「やや低めからやや高め」であった。

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度 (m)	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播磨灘	7地点平均値	14.7	13.4	11.4	32.6	32.8	33.1	10.1	6.06	5.51
	平年値	14.0	13.2	12.1	32.2	32.2	32.4	9.3	6.14	5.54
	平年偏差	0.6	0.2	-0.7	0.4	0.5	0.7	0.8	-0.08	-0.03
	状況	やや高め	平年並み	やや低め	やや高め	やや高め	かなり高め	平年並み	平年並み	平年並み
備讃瀬戸	14地点平均値	14.0	13.8	13.8	32.6	32.6	32.6	5.9	5.97	5.93
	平年値	14.0	13.7	13.8	32.4	32.5	32.7	5.9	5.69	5.66
	平年偏差	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	-0.1	0.0	0.28	0.27
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	やや高め	やや高め
燧灘	4地点平均値	15.8	13.7	12.2	33.1	33.2	33.4	13.2	5.43	5.29
	平年値	15.6	13.5	12.5	32.6	32.9	33.1	10.6	5.80	5.27
	平年偏差	0.3	0.2	-0.4	0.5	0.3	0.4	2.6	-0.37	0.02
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや低め	平年並み

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間 水温及び塩分：昭和47(1972)～平成13(2001)年度

透明度：昭和58(1983)～平成13(2001)年度

溶存酸素：昭和55(1980)～平成9(1997)年度

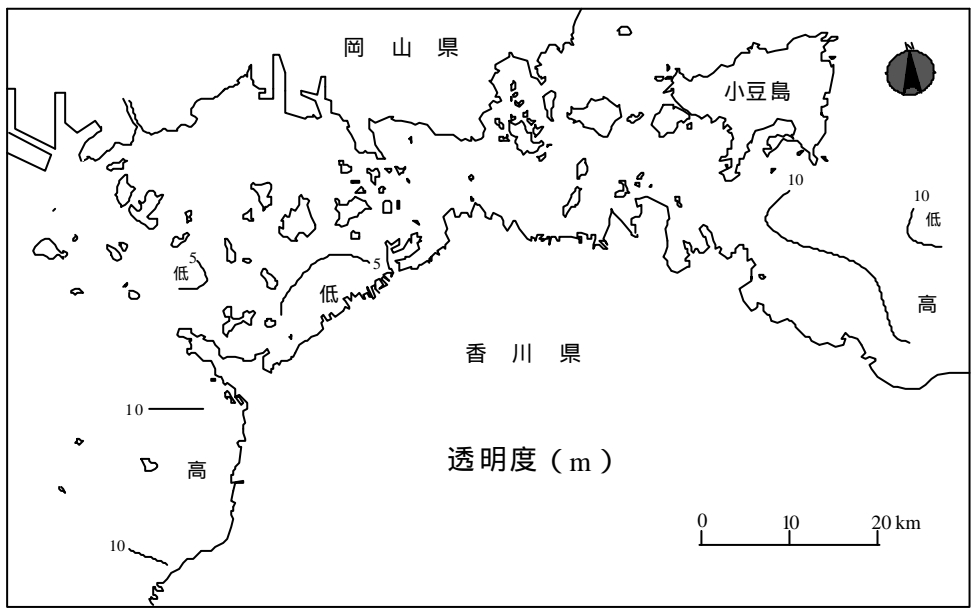
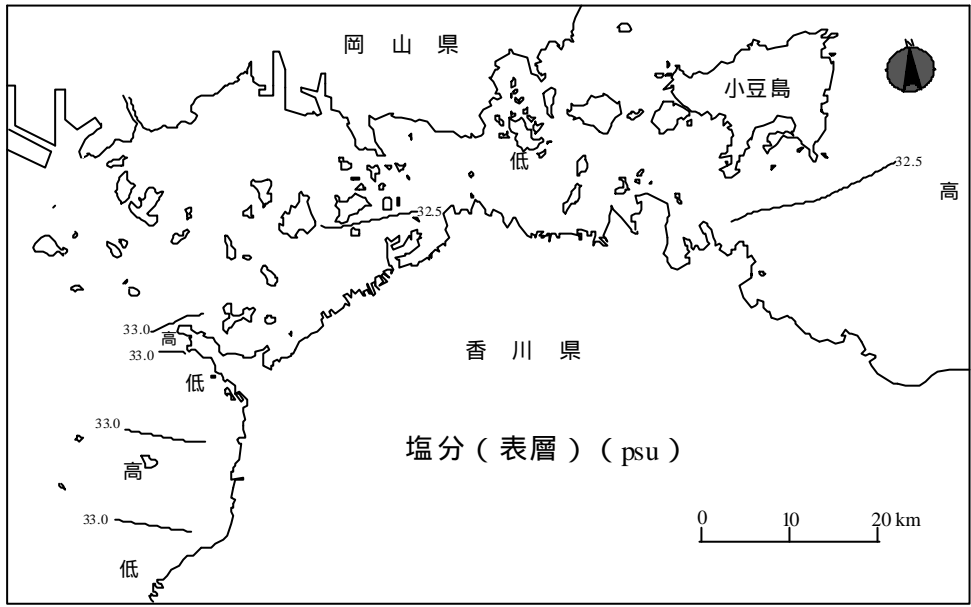
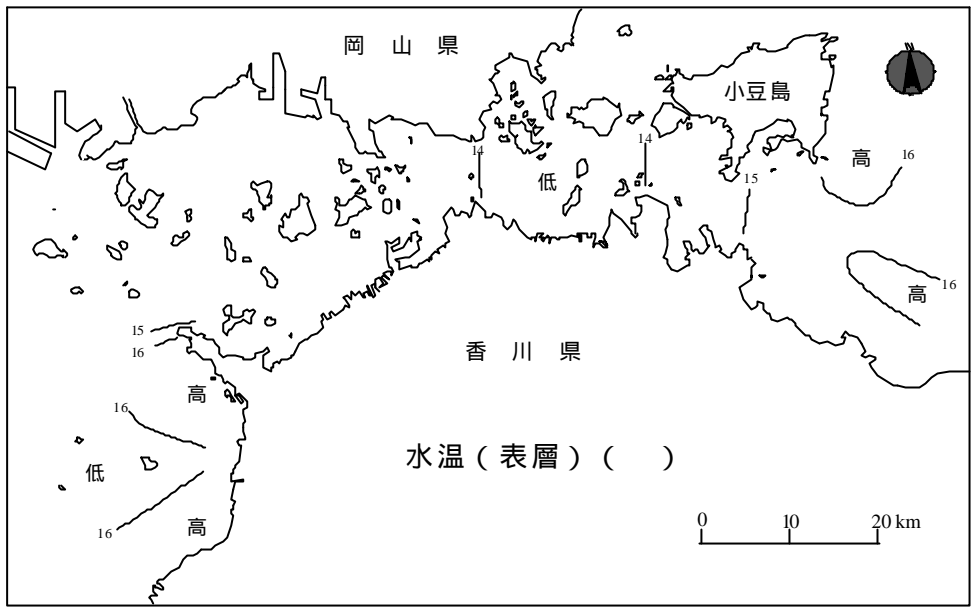
水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み 0 平年偏差 < 0.6 ( : 標準偏差)

やや高め(やや低め) 0.6 平年偏差 < 1.3

かなり高め(かなり低め) 1.3 平年偏差 < 2.0

著しく高め(著しく低め) 2.0 平年偏差



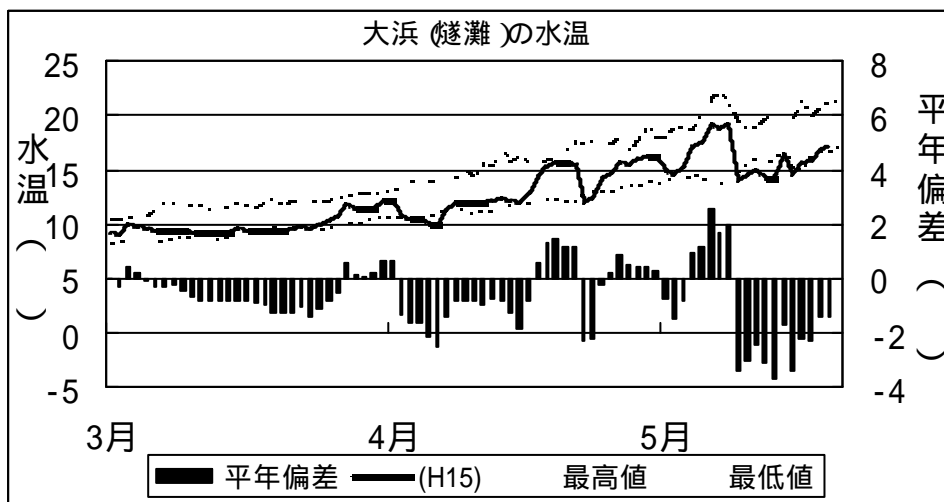
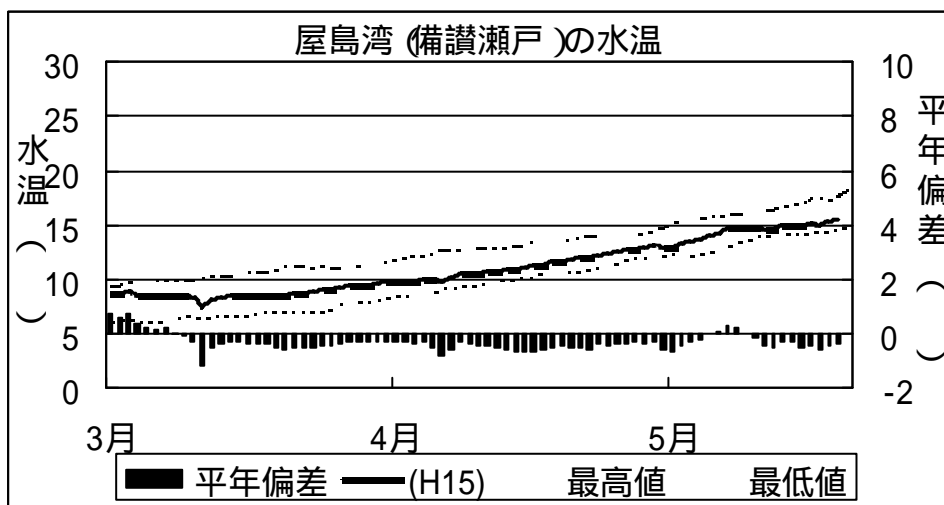
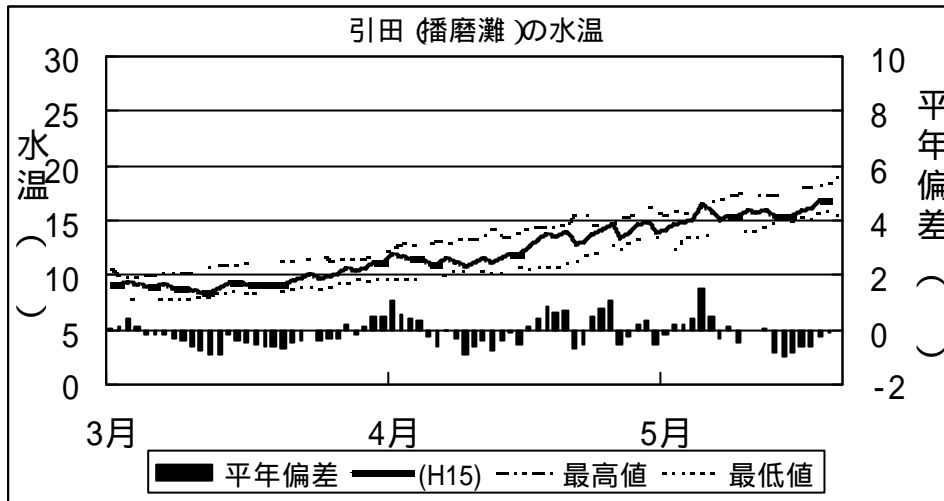
2) 定置観測(水温)

播磨灘(引田): 3月下旬以降、数日から10日程度の周期で平年値を上回ったり、下回ったりしている。

備讃瀬戸(屋島): 3月中旬以降平年偏差が-0.4前後で推移していた。5月上旬一時平年値を上回ったが、その後、また、平年値より低く推移している。

燧灘(大浜): 3月下旬以降、数日から10日程度の周期で変動していた。5月に入り変動幅が大きくなり、中旬以降は平年偏差が-2前後で推移している。

平年値の算出期間 引田及び大浜: 平成元(1989)~平成14(2002)年  
屋島: 昭和50(1975)~平成14(2002)年



3) 赤潮

播磨灘：5月中旬南西部で *Noctiluca scintillans* の赤潮の発生があった。

備讃瀬戸：発生なし。

燧灘：発生なし。

4) 卵稚仔

調査日：平成15年5月6日（播磨灘）、2日（備讃瀬戸、燧灘）

出現量

個（尾）/ 曳網

	カタクチイワシ		マイワシ		その他の魚類	
	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	37.63	0.00	0.00	0.00	41.38	3.13
備讃瀬戸平均	3.00	0.00	0.00	0.00	15.87	1.00
燧灘平均	5.43	0.00	0.00	0.00	10.29	3.00
総平均	12.80	0.00	0.00	0.00	21.37	2.03

対平年値

	カタクチイワシ		マイワシ	
	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	442.9%	0.0%	0.0%	0.0%
備讃瀬戸平均	356.2%	0.0%	0.0%	0.0%
燧灘平均	14.7%	0.0%	0.0%	0.0%
総平均	113.2%	0.0%	0.0%	0.0%

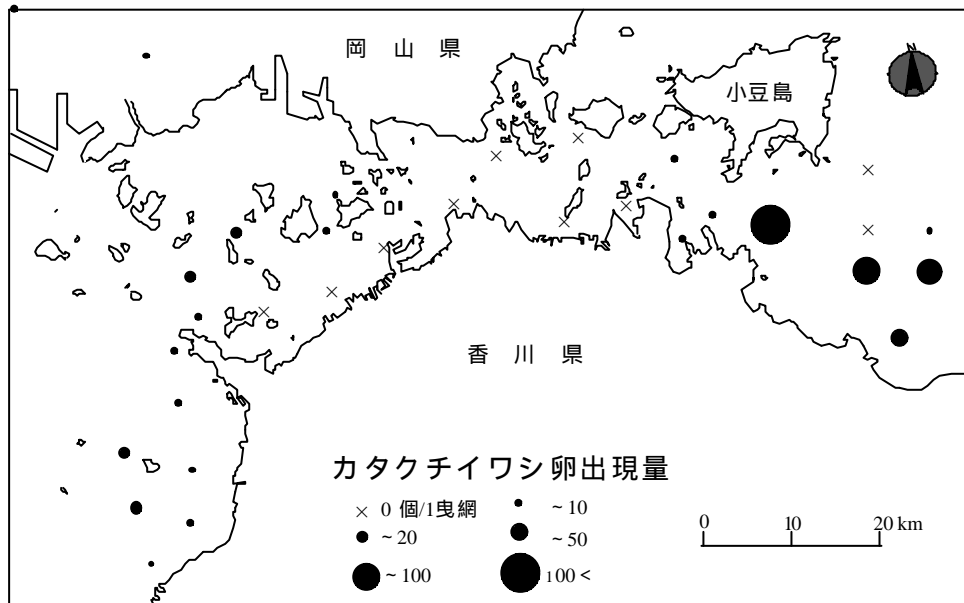
- 平年値が∞の場合を示す

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55（1980）～平成14（2002）年度

マイワシ：平成5（1993）～平成14（2002）年度

各調査点のカタクチイワシ卵の出現量は、次のとおりである。



## 2. 漁況

4月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	底びき網はクラゲが多く、全般的に低調である。 舩網ではコノシロ、スズキ、マダイ、ウマヅラハギ、クロダイが漁獲されているが、前年に比べて漁獲量は少ない。 サワラ流し刺網は4月25日から操業が開始されたが、前年に比べて漁獲量は少ない。
備 讃 瀬 戸	底びき網では主にウシノシタ類、メイタガレイ、マアナゴ、フグ類、テナガダコが漁獲されている。 高松・庵治沖のイカナゴ込網は4月にはいって漁獲量は減少したが、4月末現在の漁獲量は1,500トンとなっており、前年の漁獲量を上回っている。
燧 灘	底びき網はクラゲが多く、全般的に低調である。 舩網ではマダイ、ヒラメ、マサバ、ウマヅラハギ、イカ類が少ない。 さより機船船びき網は200～250 kg/日・隻とかなり獲れているが、魚体が小さく単価が安い。